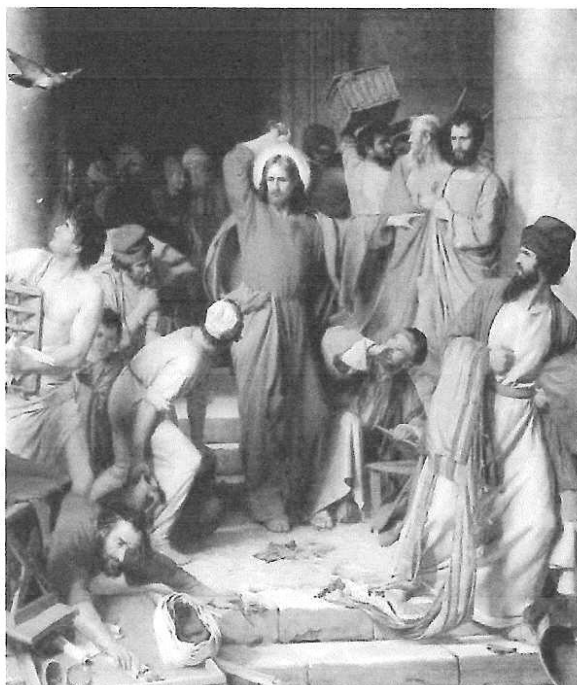


## <実を探したイエスさま>

マルコ11:12~25



【宮きよめ】



【枯れたいちじくの木】

イエスさまは、視覚的なことを用いて教えられた。

視覚教材の効果・・・目で見てわかる。理解しやすい / 印象に残る

ロバの子に乗ってエルサレムに入城されたイエスさまは、まず何をしました？

イエスはエルサレムに着き、宮に入られた。そしてすべてを見て回った。【11節】

どんな光景を目にして、何を思われたのか・・・？

翌日、滞在先のベタニア村からエルサレムに向かう途中、いちじくの木に命じた。

「今後、いつまでも、だれもおまえの実を食べることのないように。」【14節】

翌朝早く同じ場所を通ってみると、いちじくの木が根っこまで枯れていた。

いちじくの木に命じた → 宮きよめ → いちじくの木は枯れていた

◆「宮きよめ」と「いちじくの木が枯れた」2つの事は、深くつながっている。

イエスさまは、イスラエルの霊的状态を弟子たちに教えようとされた。

- ◆いちじくは葉を茂らせていたが、実がなかった。それと同じように、信仰も、どんなに外側が立派に見えても、中身、実態が形だけになって真の礼拝が失われていたら、結局いつかは枯れてしまう。

弟子達は枯れたいちじくの木を見て驚いた。

イエスさまのことば + 宮きよめの情景 + 枯れたいちじくの木  
そして脳裏に焼き付いた！ 大切な真理！

#### 【宮(神殿)で行われていたこと】

- ・自分の犯した罪の償いとして、犠牲に捧げる動物（レビ記5章）が神殿で売られていた。
- ・各地から礼拝者が集まってきていたため、神殿に税金を納めるための通貨も両替する必要があり、両替商もいた。

- ◆自分のもうけにばかりで、神の事など少しも思わない者達が、神を礼拝する神殿で横行していた。イエス様はその有様を見て失望された。

「私の家は、すべての民の祈りの家と呼ばれる。」

真の礼拝がないがしろにされている事への聖なる怒り。

「教会」…エクレシア。召し出された者という意味。神を信じる者たちの共同体。

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって

満たす方の満ちておられるところです。 エペソ1：23

- ◆礼拝が形骸化し命が失われていった。それはまるで、葉ばかりが生い茂って、実りが一つ無いいちじく木のように。

私たちの礼拝はどうだろう。主に喜ばれる場になっているだろうか…。

実を結ぶ唯一の方法は、キリストとつながっていること！

わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中に  
とどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。 ヨハネ15：5

神へのいけにえは、砕かれた霊、砕かれた、悔いた心。神よ。あなたは、それをさげすまれません。

詩篇51：17